

音環境の測定のレポートについて

1回目のレポートとしては、また2年生段階であることを考慮すると、全体的に良いできだったように思います。ただし、それでも修正して欲しい点などもあります。下記に、気が付いたことなどをまとめておきます。

- 1) 「はじめに」や「測定の目的」などの最初のところは、できるだけ自分なりに、しかもできるだけいろいろと書くように努力していきましょう。場合によっては、この部分をレポートの本体を作成し終わった最後を書くことも考えて下さい。
- 2) 図表はできるだけ見やすくなるよう努力しましょう。フォーマットを統一するなどして下さい。また、図表のタイトルはタイトルを読んだだけで、どのような図表であるのかがわかるように工夫して下さい。また、図表の見方も簡単で良いから言葉で説明しましょう。
- 3) 測定日時、使用した機器などの基本情報は必ずきちんと過不足なく明記して下さい。
- 4) 測定機器そのものの使い方については、特殊な場合を除いて、レポートには書かなくても結構です。
- 5) 測定点の場所がわかるように、図を入れてください。また、写真を使うと測定の様子が非常によくわかります。
- 6) 単位は忘れずに。
- 7) 結果だけを示しているレポートがいくつかありました。一番時間をかけてもらいたいのは、考察の部分です。様々な図や表を作ったり、参考文献を読んだり、内容を深めて下さい。最低限、授業で紹介したポイントについては、検討して下さい。読み手を説得する材料を揃え、順番に話を進めましょう。
- 8) グラフを作成する際には、どうすれば言いたいことがより伝わるかを常に考えましょう。
- 9) レポートのフォーマットはできるだけ統一した方が読み易いと思います。
- 10) スペースの取り方、図表のレイアウトの仕方によっても随分と印象が変わります。いろいろと工夫してみてください。
- 11) 小見出しに使う数字は、人によっても違いますが、「1.」、「(1)」、「1)」、「①」ぐらいの順です。
- 12) 文章がおかしな人がいますが、できるだけレポートが完成した後で、もう一度読み返しましょう。
- 13) 次回からは、測定前の準備や話し合いをきちんと行ってから、測定に入るようにしましょう。